



有限
会社

日置川清掃

— HIKIGAWASEISOU —

URL : <https://www.seisou-hikigawa.com>



エコアクション21
認証番号 0001481

認証・登録番号 0001481
認証・登録日 2007.4.6

2022年度 環境経営活動レポート

【対象期間 2022年4月1日 ~ 2023年3月31日】



作成日 : 2023年6月1日

CONTENTS

01	あいさつ	3P	▶
02	環境経営方針	3P	▶
03	組織の概要	4P5P6P	▶
04	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7P	▶
05	許可の内容・実績	8P	▶
06	主な環境負荷の実績	9P	▶
07	環境経営計画の取組結果とその評価	10P11P12P13P14P	▶
08	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	15P	▶
09	緊急事態対応訓練	15P	▶
10	活動の紹介	16P	▶
11	これまでの環境活動の紹介	17P18P	▶
12	代表者による全体の評価と見直し・指示	19P	▶

私たちは、白浜町で廃棄物を取り扱う会社です。
廃棄物のリサイクル・適正処理に努め、環境保全
活動に取り組んでおります。



ごあいさつ

私たちが直面する地球温暖化問題は、現代を生きるものにとって重要な課題です。私たちは環境問題に取り組み、環境保全で“明るい未来の街づくり”を組織及び各人がその役割を担い、自らの事業の発展を求めて環境保全意欲増進のための活動を促進するために地域顧客と共に考え施策を講じていきます。

環境経営方針

【基本理念】

環境経営が重要課題であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、(有)日置川清掃の全社員が自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。当社の産業廃棄物収集運搬・中間処理における環境負荷を減少させ、リサイクル率を高める事業活動に取り組むため、次のように定めます。

〈事業基盤の強化・拡大〉

- ・ 適正処理の更なる推進と環境再生に努めます。
- ・ 産業廃棄物の適正な収集運搬及び処理を促進するための人材を育成します。
- ・ 最終処分量削減によるコスト削減や再資源化率向上をめざします。

〈CSR活動への積極的な取組強化〉

- ・ 温室効果ガスの排出による環境への負荷を出来る限り低減します。
- ・ 非常災害により生じた廃棄物の処理に積極的に協力します。
- ・ 環境保全や雇用の拡大に努め、地域社会の健全な発展に貢献します。

【環境保全への行動指針】

- ① 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ② 次の項目について環境経営目標を定め、実施計画を立て継続的改善に努めます。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1 地球温暖化防止のためCO ² 排出量削減 | 6 再資源化品の販売促進 |
| 2 電力使用量削減 | 7 水資源の保護 |
| 3 収集運搬車等の燃料削減 | 8 グリーン購入の推進 |
| 4 受託廃棄物の再資源化推進 | 9 人材育成、環境教育普及啓発等の推進 |
| 5 自社排出一般廃棄物の削減 | |

実施計画に定めた各種指標等、取組項目ごとの進捗状況について、目標値や過去の実績値比較評価を行い、事業活動に係る環境配慮等の情報を当社に働くすべての従業員に周知し、環境レポートを社外に公表します。

制定日 2006年5月01日
改定日 2012年7月14日
改定日 2017年8月08日
改定日 2019年12月12日

有限会社 日置川清掃
代表取締役 廣田 稔雄

03 組織の概要



名称及び代表者名

有限会社 日置川清掃 代表取締役 廣田 稔 雄

所在地

本社（登記上） 和歌山県西牟婁郡白浜町日置 2039 番地の 64 号
処理施設及び事務所 和歌山県西牟婁郡白浜町大古 537 番地の 126 号
土壌改良材置き場 和歌山県西牟婁郡白浜町大古 537 番地の 44 号

環境管理責任者氏名及び担当連絡先

責任者 常務取締役 廣田 耕 嗣 TEL 0739-87-2027 FAX 0739-87-2057
担当者 環境事務局 廣田 光 紀 TEL 0739-87-2027 FAX 0739-87-2057

事業内容

一般廃棄物の積替え保管を含む収集運搬及び中間処理
産業廃棄物の一部積替え保管を含む収集運搬及び中間処理
再資源化品の製造販売及び太陽光の売電事業

事業の規模

法人設立	1988 年 1 月 14 日
資本金	300 万円
売上高	1 億 8712 万円（事業年度 4 月～3 月）
従業員数	21 名
事務所床面積	174m ²
工場床等面積	5,052m ²
収集運搬量	5400.5t（産業廃棄物 4135.7t 一般廃棄物 1264.8t）
中間処理量	4417.5t（産業廃棄物 4097.4t 一般廃棄物 320.1t）
最終処分量	1620.8t（産業廃棄物と一般廃棄物合わせて）
再資源化	3779.8t（産業廃棄物と一般廃棄物合わせて）



03 組織の概要



作業車

脱着式コンテナ専用車 → 12t [2台] 4t [4台] 2t [1台]

★設置場所・排出状況に応じた様々なサイズのコンテナをご用意しております。



貨物車

ユニック車 → 8t [1台] 3t [1台] / 平ボテ車 → 3t [1台]

パッカー車 → 2t [2台] 3t [1台] / 軽トラック → [1台]



重機類・その他

建設機械(バックホウ) → 0.45m³ [2台] 0.25m³ [1台] 0.16m³ [2台] 0.1m³ [1台]

建設機械(タイヤショベル) → WA50 [1台] WA100 [1台]

フォークリフト → [2台]

清掃機器 → 搭乗式スイーパー 90DK



03 組織の概要



中間処理施設

- 破碎施設 → SSC-12040 — 最大 2.88t/日
BR120T-1 型 — 121t/日 (木くずに限る)
- 混合廃棄物選別プラント → 120m³/日
- 圧縮、梱包施設 → YB-32M-PA-10N-20 — 0.28t/日 (軟質系廃プラスチック類に限る)
- 発泡スチロール減容器 → 形式: EH-6 — 0.180t/日
- 缶圧縮施設 → PVA-1 — 4.35t/日



入口設置看板



選別施設



40tトラックスケール



木材破碎機



木材チップスイングスクリーン



圧縮減容成型機



溶融



廃プラスチック等破碎機



ペットボトル圧縮梱包機



缶プレス機

廃棄物選別プラント

当施設では**紀南初**となる**選別リサイクルライン**を導入しております。
リサイクルをするための前処理を行い、再資源化できるものを精選します。



①低騒音篩分機
(フィンガースクリーン)

強力な振動でふるいにかかけ、20アンダー以下のもの(残渣)を排出します。



②手選別エリア

土・砂を取り除いたゴミを木屑や廃プラスチック・紙屑に手作業により分別します。



③ロータリー式磁選機

強力な磁石により、鉄屑のみ選別します。



④風力分別処理装置
(デ・ストーナ)

振動・風力エアナイフを併用し重量物と軽量物に分別、同時に残りの残渣も排出します。



⑤集塵機

周辺環境に配慮した精選粉塵システム。

04 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



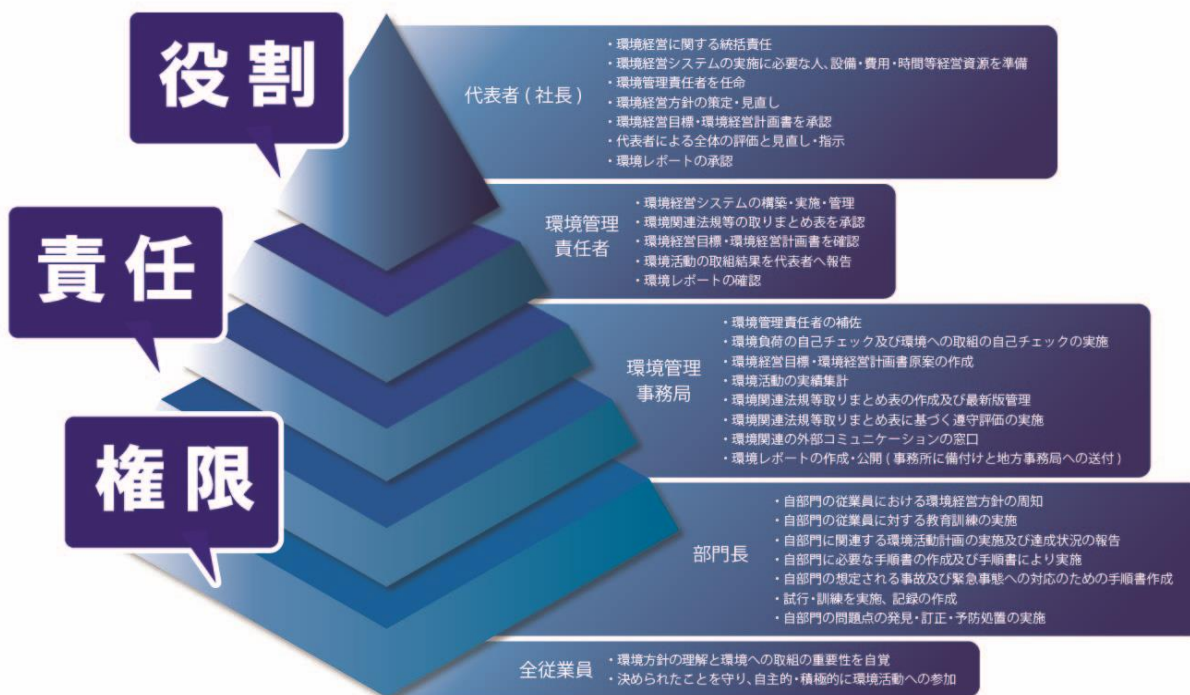
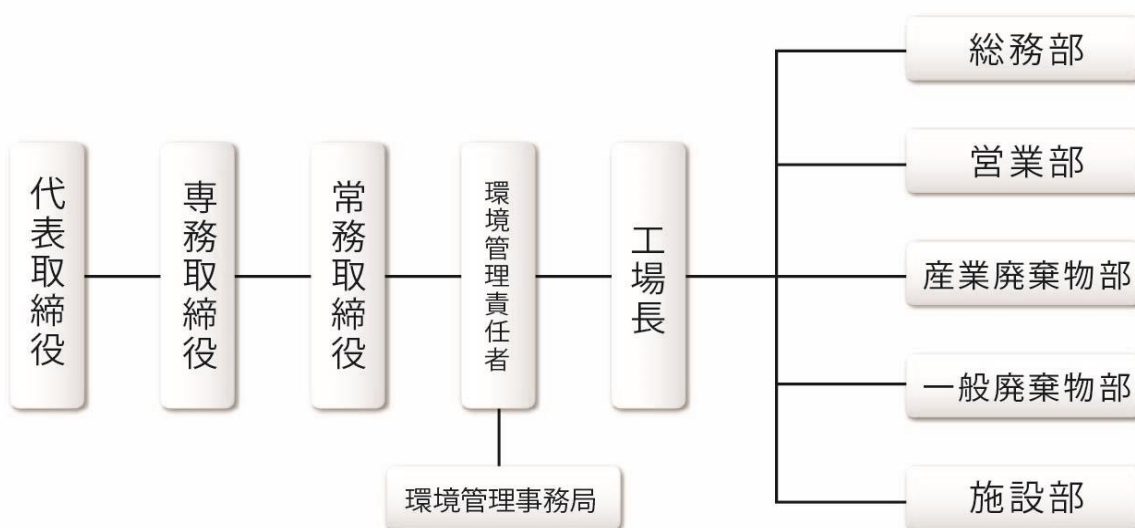
名称及び代表者名

有限会社 日置川清掃 代表取締役 廣田 稔 雄

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 ⇒ 有限会社 日置川清掃 処理施設及び事務所、土壌改良材置場
 活動 ⇒ 一般廃棄物の収集運搬及び中間処理
 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理
 再資源化品の製造販売

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



05 許可の内容・実績



許可の内容

産業廃棄物収集運搬業			許可・品目													
都道府県 政令市	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	汚 泥	廃 油	廃 プ ラ ス チ ック	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類	燃 え 殻	鉞 さい	ば い じ ん
和歌山県	第 03016070300 号	2020年7月2日 2025年6月1日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大阪府	第 02700070300 号	2019年8月30日 2024年8月29日	●		●	●	●			●	●	●	●			
奈良県	第 02900070300 号	2020年8月17日 2025年8月16日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
三重県	第 02400070300 号	2019年11月1日 2024年9月25日	●		●	●	●			●	●	●	●			
産業廃棄物処分業			許可・品目													
和歌山県	第 03026070300 号	2022年5月17日 2027年5月16日			●	●	●	●		●	●	●	●			

来歴：令和元年7月10日 燃え殻・鉞さい・ばいじん追加許可（奈良県知事）

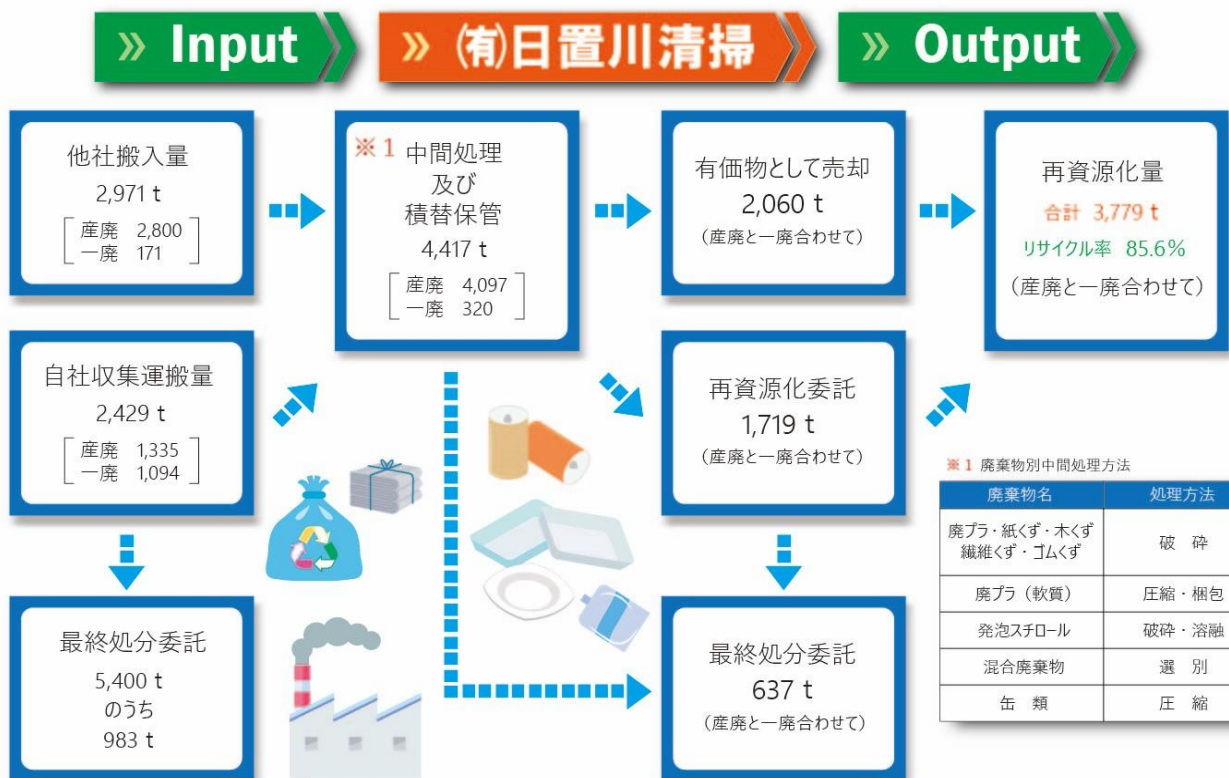
〈一般廃棄物関係〉

白浜町一般廃棄物処理・収集運搬業 許可番号 第 8722005 号
許可年月日 2022年4月1日 / 有効年月日 2024年3月31日

〈建設業関係〉

一般建設業 和歌山県知事 許可（般-29）第 14829 号 建築工事業
許可年月日 2023年2月14日 / 有効年月日 2028年2月13日

廃棄物処理フロー 2022 年度実績





主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	359,908	343,308	358,469
受託収集運搬量（一廃と産廃）	t	8,014	7,253	5,400
受託中間処理量（一廃と産廃）	t	7,247	6,272	4,417
委託最終処分量（一廃と産廃）	t	1,245	1,555	1,620
一般廃棄物排出量	kg	176.1	119.0	110.1
産業廃棄物排出量	t	6,180	5,977	4,135
雨水使用量	m ³	37.6	39.2	498.6

※二酸化炭素調整後排出係数 0.444 kg-CO₂/kWh (R4 年度 リコージャパン実績)

環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2022年		評価	2023年 (目標)	2024年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	41,173	36,232	97,923	×	35,820	35,408
	基準年度比	2021年	88.0%	237.8%		87.0%	86.0%
自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	302,134	29,609	260,545	○	29,306	29,004
	基準年度比	2021年	98%	86%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	343,307	329,136	339,722	×	329,574	326,141
一般廃棄物の削減	kg	119.0	113.05	110.1	○	110.67	107.1
	基準年度比	2021年	95%	92.5%		93.0%	90.0%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	90.8%	89.5%	85.1%	×	89.0%	88.5%
雨水の利用	m ³	39.2	34.1	498.6	×	33.7	33.3
	基準年度比	2021年	87.0%	1,272%		86.0%	85.0%
グリーン購入の推進	%	56.4%	58.0%	25.0%	×	60.0%	62.0%
環境に配慮した収集運搬	出発前にタイヤの空気圧・ホイールナットの点検を行っている。日々心がけていることなので、評価は全体的に○としています。今年度は車輛の購入などはありません。						





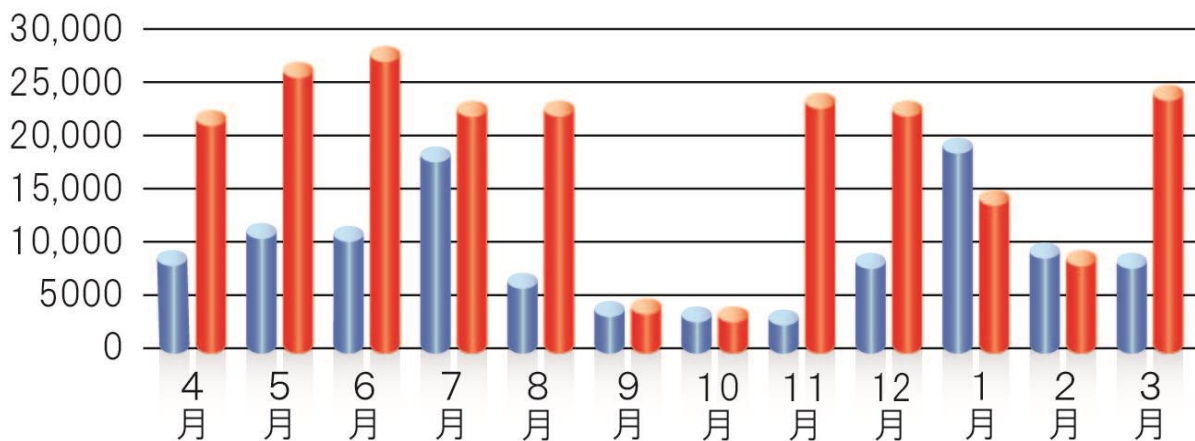
環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標 → ○達成 ×未達成

数値目標	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
電力による二酸化炭素削減	×	
事務室・工場などの照明は、昼休み・残業時などの不必要な時は消灯している	○	前年度より新規事業開始となり、前年度も電力の使用量が増えると思われていましたが、早々の機械故障により前年度はあまり稼働することができませんでした。その影響で、基準年度となる前年度の電力使用量は今年度よりもかなり少ないです。新事業に関しては今年度も思い通りに稼働できていなので、はっきりとした基準を早く定めていきたいです。
ロッカー室や倉庫・使用頻度が低いトイレなど、照明は普段は消灯し使用時のみ点灯している	○	
夜間や休日はパソコン・プリンターなどの主電源を切っている	○	
ブラインドやカーテンの利用などにより熱の出入りを調節している	○	
夏季における軽装、冬季における重ね着など服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑えている	○	
電力不要時には負荷遮断・変圧器を遮断している	○	
昼間の太陽光や人の存在を感知し、必要時のみ点灯する設備を採用している	○	
コピー機・パソコン・プリンターなどのOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入している	○	
負荷の変動が予想される動力機器において、回転数制御が可能なインバーターを採用している	○	
部分換気システムを導入している	○	
屋根・壁・床などに断熱材を採用している	○	
太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用している	○	
設備の定期点検と予防保全の実施をしている	○	

kWh	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	9,750	10,713	10,206	18,717	6,716	4,214	3,943	3,746	8,383	19,963	9,494	8,845
2022年	21,694	25,214	27,386	22,257	22,456	4,481	3,525	23,174	22,244	14,995	8,303	24,820

電力 (kWh)

■ 2021年 ■ 2022年




環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標 ⇒ ○達成 ×未達成

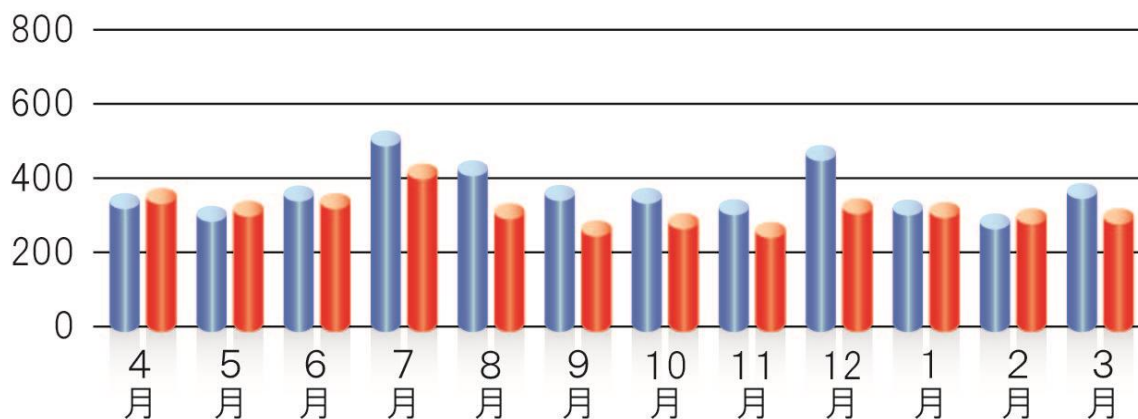
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	○	一年を通して達成出来ています。 毎日運行管理者がドライブレコードを チェックしています。 次回は燃費管理も行っていきたいと思 います。
ドライブレコーダーなどを導入し、車両の運転における燃料効率の改善を図っている	○	
効率的な訪問先のルートの設定	○	
急発進急加速の防止	○	
油圧リリーフの防止	○	
波状運転の防止	○	

ガソリン	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	363	304	389	492	402	389	383	333	432	357	304	388
2022年	379	325	369	401	356	272	282	258	320	311	286	296

軽油	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	9,855	10,347	15,998	9,715	9,560	9,755	10,098	9,092	6,385	7,903	6,542	7,813
2022年	8,268	7,926	10,123	8,040	9,608	9,314	7,927	7,355	6,432	6,887	6,992	8,638

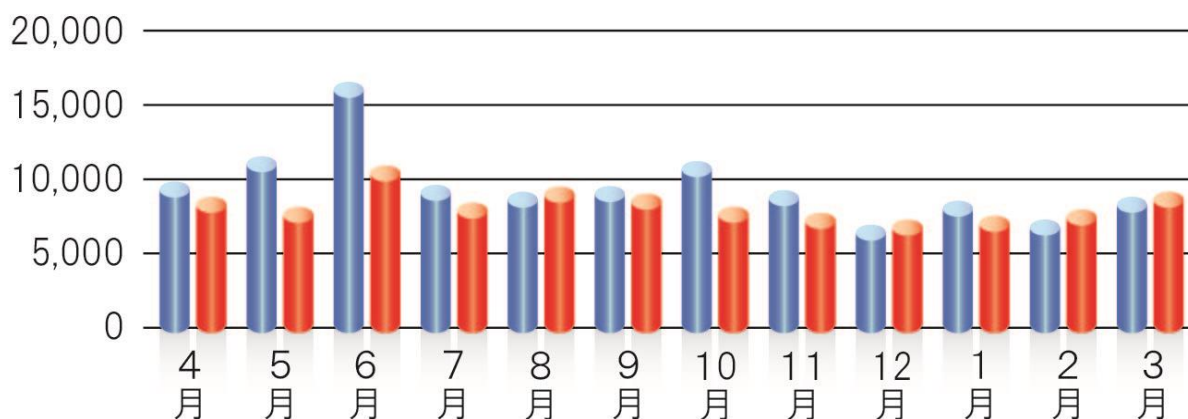
ガソリン (L)

2021年
 2022年



軽油 (L)

2021年
 2022年



07

環境経営計画の取組結果とその評価



環境経営計画の取組結果とその評価

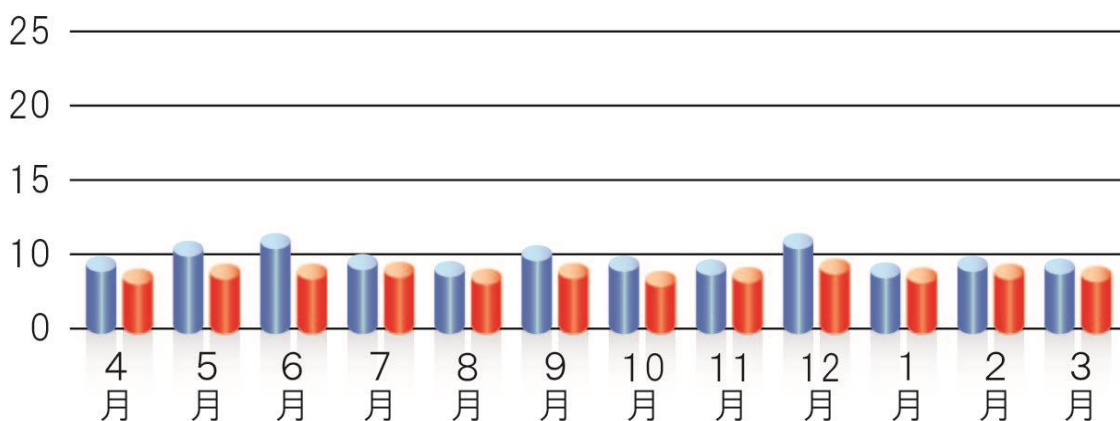
数値目標 ⇒ ○達成 ×未達成

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	○	1年を通して達成出来ています。取組についても、社内において常日頃心がけていることです。もっと削減できればと思いますが、とりあえずはこれ以上増やさないよう、現状維持でいきたいと思えます。
印刷物を作成する場合はその部数が必要最小限の量となるように考慮し残部が出ないように配慮している	○	
社内 LAN・データベースなどの利用による文書の電子化に取り組んでいる	○	
両面・集約などの機能を活用した印刷及びコピーを徹底している	○	
使用済み用紙・ポスター・カレンダーなどの裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫している	○	
ミスコピーを防止するため使用前に設定を確認するとともに、使用後は必ず設定をリセットしている	○	
分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底している	○	
生ごみなどの分別・リサイクルや適正な焼却処分を極力行うことにより、有機物の埋立て処分を抑制している	○	

kg	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	9.8	10.2	10.5	10.0	9.5	10.1	9.8	9.7	10.4	9.5	9.8	9.7
2022年	8.9	9.1	9.2	9.5	8.8	9.3	8.8	9.2	9.7	9.1	9.3	9.2

一般廃棄物 (kg)

2021年 (Blue) 2022年 (Red)





環境経営計画の取組結果とその評価

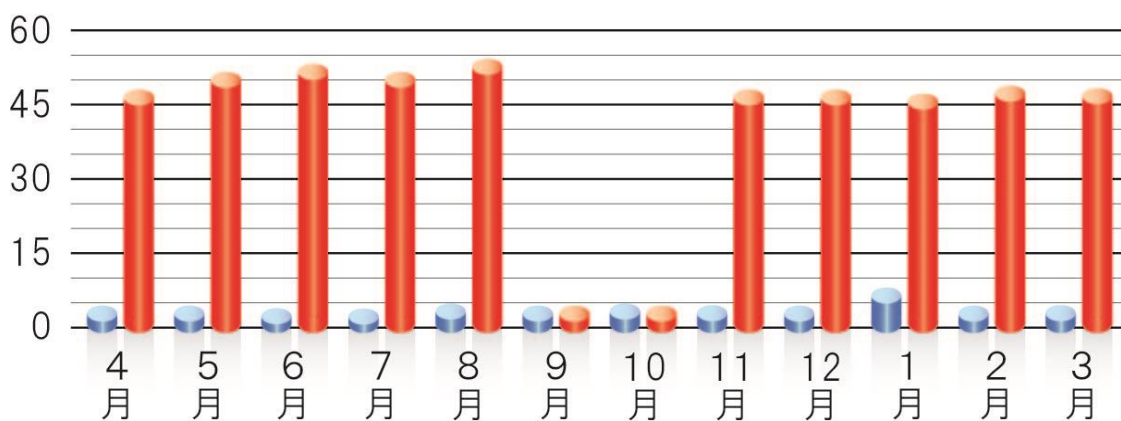
数値目標 ⇒ ○達成 ×未達成

雨水の利用	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	×	
手洗い時・洗い物においては、日常的に節水を励行している	○	新事業に伴い少し使用量が増えてきています。末年度より基準年度を変更し、出来るだけ節水を心がけたいと思います。市水の使用はなしです。
生産工程で使用する水を再利用するための設備を設置し活用している（中水利用）	○	
雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置などにより、雨水利用を行っている	○	

kg	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	3.2	2.8	2.5	2.4	3.4	2.6	3.8	3.5	3.2	5.9	2.9	3.0
2022年	46.7	51.3	53.1	51.9	54.0	2.5	3.1	47.1	46.9	45.8	48.3	47.9

雨水 (m³)

2021年
 2022年



雨水タンク (5000 ℓ × 2)

雨水タンク設備全体



環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標 → ○達成 ×未達成

受託廃棄物のリサイクルの向上		達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標		×	数値目標は一年を通して達成出来ていない。廃棄物量は、一般廃棄物と産業廃棄物の資源ごみの量です。目標達成率に少し届きませんでした。もう少しリサイクル率をあげていけるよう、心がけたいと思います。
廃棄物の分別を徹底をし、可能な場合は売却している	○		
廃棄物処理方法の変更をしたり分別廃棄の徹底を行い廃棄物を資源化できるようにしている	○		
循環型社会形成推進基本法に基づき再利用・生利用又は熱回収の実施に積極的に取り組んでいる	○		
リサイクル製品の販売促進に積極的に取り組んでいる	○		

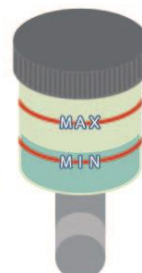
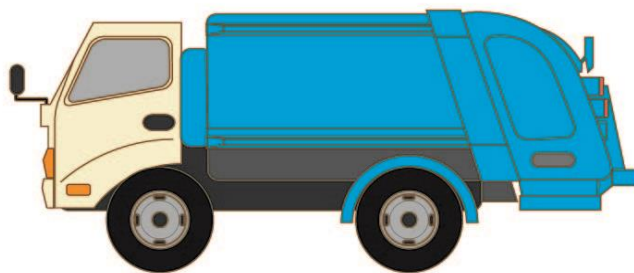
kg	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	89.0	91.6	93.0	92.3	92.7	92.4	92.0	91.6	90.8	89.7	89.1	89.5
2022年	83.7	86.2	85.5	86.0	86.5	87.2	86.6	86.5	86.2	85.9	85.4	85.1

グリーン購入の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標		×	今年度も前年度と同様、車両や電化製品などの購入はしていません。事務用品など購入の際は積極的にグリーン購入法適合商品やエコ商品を選んでいます。車両や機械の部品などにはなかなか適合商品とされている物がないので難しいところです。
環境ラベル認定など製品を優先的に購入している	○		
社内省エネルギー基準適合製品を購入している	×		
再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している	×		
部品の再利用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入・使用している	×		
社用車について、ハイブリッド車や低燃費車などの低公害車への切替えに取り組んでいる	×		

%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	53.3	72.7	66.7	76.9	60.0	14.3	62.5	71.4	60.0	53.8	28.6	57.1
2022年	72.2	100.0	0.0	63.6	50.0	50.0	63.6	66.6	33.3	69.2	75.0	25.0



環境に配慮した収集運搬		達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標		なし	朝、出発前にタイヤの空気圧とオイルナットの点検を行っています。取組については日々心がけていることなので、評価は全体的に○としています。今年度は車両の購入などはしていません。
排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている	○		
収集運搬車両の購入の際は排ガスのレベル・燃費・リサイクル素材の使用などを考慮している	○		
最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両への代替を進めている	○		
エコドライブなど運転方法の配慮（駐停車中のエンジン停止など）を励行している	○		
デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーなどエコドライブ関連機器を導入している	○		
タイヤの空気圧を定期的を確認し、適正值（メーカー指定の空気圧）を保つようになっている	○		





環境関連法規等の遵守状況

法規名	該当する施設等の項目	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適正処理と契約書、マニフェスト管理	○
和歌山県公害防止条例	粉塵を発生する破砕機とふるい	○
騒音・振動規制法・悪臭防止法	一般廃棄物・産業廃棄物処理施設	○
消防法(危険物関連)	指定可燃物四品目の管理	○
フロン排出抑制法	業務用空調機器のフロン簡易点検	○
労働安全衛生法(第76条、他)	技能講習の修了が必要な業務等	○
道路交通法(第74条)	安全運転管理者	○
道路運送車両法(第47条、第48条、第49条、第50条)	収集運搬車の点検・整備	○
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	重機類を含む日常および法定点検	○
計量法(第19条、第21条)	計量機定期検査	○
家電リサイクル法	家電製品(特定家電品)の廃棄	○
水質汚濁防止法	油水分離槽の管理(清掃・定期点検)	○
グリーン購入法	購入時に該当品の確認を行う	○
廃棄物処理法施行令等の改訂(水銀廃棄物関係)	自社産廃の水銀使用製品の適正保管及び処理委託	○

※環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反・訴訟等も過去3年間ありませんでした。



消防訓練

実施内容 通報訓練・消火訓練・避難訓練を想定して



令和4年6月3日実施。

災予防意識の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として実施しています。コロナ禍を踏まえた防災訓練の実施が重要です。



これまでの環境活動の紹介



令和4年9月25日(日)
クリーンアップキャンペーン
田辺市天神崎海岸の清掃作業



海岸に打ち上げられた海藻やポイ捨てされた廃棄物を拾い集めました。



令和4年11月9日(水)
不法投棄防止巡回パトロール



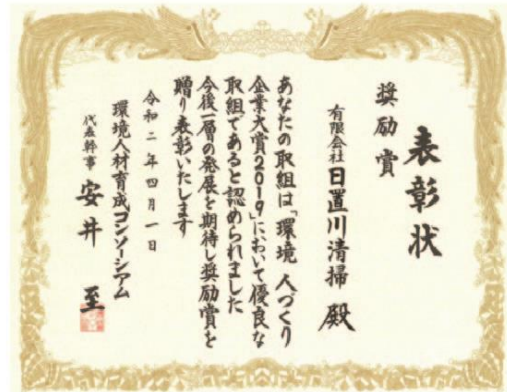
和歌山県が実施する「和歌山県ごみの散乱防止に関する条例」に係る取組の一つ。ごみの散乱防止についての県民意識の高揚とともに、県民及び県内事業者の自主的な清掃活動の促進を目的に制定され、当巡回パトロールが認定されました。

これまでの環境活動の紹介

環境人づくり企業大賞2019奨励賞を受賞しました!

《環境省 環境人材育成コンソーシアム (EcoLead) による評価 (評価ポイント・取組内容)》

業界内や地域での啓発活動や支援・貢献の強い姿勢が読み取れる。
マイクロプラスチックの問題についても、本業と関連付け取り組もうとしている。



「環境人づくり企業大賞 2019」は自社社員を環境人材に育成する企業の取組及びその成果を表彰するものです。

平成27年度関西エコオフィス奨励賞を受賞しました!!!



平成28年3月22日、関西空港会議場（ホテル日航関西空港内）にて「平成27年度関西エコオフィス大賞」表彰式が行われました。弊社の環境保全活動の取組を評価していただき、平成27年度関西エコオフィス奨励賞を受賞しました。三日月大造 滋賀県知事より表彰状を授与していただきました。貯水タンクによる雨水利用で施設内の水利用をほぼ賄っているところや、環境活動の成果をグラフ化して社内に掲示し「見える化」を行っている点などが、高く評価されました。今後も環境保全活動の第一人者として、エコ活動を推進していきます!





代表者による全体の評価と見直し・指示

2021年度より新事業開始に伴い、電気使用量や水使用量がかなり増えると予想されていたため、2021年度を基準年度に変更するとしていました。

ですが、新事業開始早々に機械の故障などによりあまりうまく事業を進めることができませんでした。はっきりとした数字も出せないまま基準年度となり、今年度(2022)をむかえたのですが、今年度もうまく進めていた矢先にまた故障等があり今年度も100%基準となる数字が出せませんでした。今年度はまだコロナ等の影響もあり、売上もリサイクル率も下がっている傾向にあります。来年度(2023)はコロナの緩和や順調に新事業を進めることを考慮しながら、リサイクル率をあげていきたいと思えます。

従業員一同1つ1つの作業を見直し、今まで以上に必要・不要を見極め、弊社のはっきりとした数字(基準年度)を出すことを目標とします。

環境経営方針	<input type="checkbox"/> 変更あり	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	
環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	<input type="checkbox"/> 変更なし	※今回、基準値を見直しました。
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更あり	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	

令和5年6月1日

編集後記

あっという間の一年。エコ・環境と常に考えていても、その時の天候・環境・機械の状況でなかなか思い通りにいかないものです。

引き続き、従業員一同自分の役割を考え環境活動に取り組んでいきたいと思えます。

